

なごや市会だより

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和6年(2024年)10月臨時号

「なごや子ども市会」

特集号

名古屋市会では、市内に在住・在学している小学5・6年生が、自分たちの住むまちの議会という身近な場を実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高めることを目的とした、「なごや子ども市会」を開催しました。

今回の臨時号では、「なごや子ども市会」の様子を紹介いたします。

◆メインテーマ◆

大好きな名古屋を笑顔あふれるまちにしよう



市会って？



名古屋を住みよいまちにするために、市民の代表者として市会議員が話し合いをするところを「議会」といいます。議会では市民から出された意見や要望を聞き、条例(市が行う仕事や市民のみなさんに守ってもらうルール)や予算(市のお金の使い方)などを決めます。

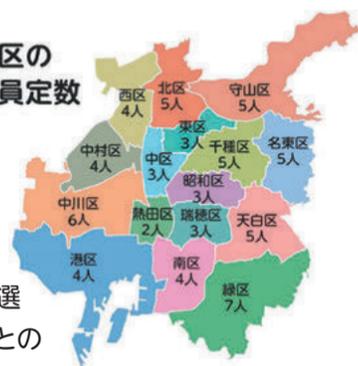
このような働きをする名古屋市の議会は「名古屋市会」と呼ばれています。

市会議員って？



市会議員は、4年ごとに行われる選挙で選ばれた市民の代表です。市会議員を選ぶことのできる人は18さい以上の国民で市内に3カ月以上住んでいる人で、25さい以上になれば自分で市会議員に立候補できます。名古屋市会には、16の区ごとに選挙で選ばれた、全部で68人の市会議員がいます。

各区の議員定数



開会・あいさつ

はじめに、名古屋市会の田中里佳議長から歓迎のあいさつがありました。その後、田邊雄一副議長から議会の役割などについて説明がありました。



田中里佳議長



田邊雄一副議長

本会議場(議場)

議員が全員集まる会議を「本会議」といいます。本会議では、市民のために市が何をするかを話し合い、最終的な決定を行います。本会議場は「話し合いが丸くすすむように」という思いを込めて、全国でも珍しい丸い形にしたと言われています。

議場の天井は、格天井といって、名古屋城の本丸御殿でも使われている立派な造りになっています。



議場見学の様子

議場の見学では、議長席(本会議の進行を行う議長の席)や演壇(市長が議案を説明したり、議員が質問をしたりする場所)などを見学しました。実際に席に座って写真をとることもできました。



市ウェブサイトでも議場について紹介しています



委員会室

名古屋市には、とても多くの仕事があるので、本会議ですべてを話し合うことはできません。そこで、少人数でくわしく話し合う場所として「委員会」がつけられています。

名古屋市には、6つの常任委員会があって、すべての議員がどこかの委員会に所属して、それぞれ専門的に話し合いを行っています。

このほか、特に必要な問題を調査するために設置した「特別委員会」や名古屋市の運営方法を話し合う「議会運営委員会」があります。



議長室

議長室の見学では、名古屋市の姉妹友好都市などについて、議長から説明を聞きました。また、大切なお客様をお招きする正副議長応接室について、副議長から説明を聞きました。



傍聴について

本会議や委員会での議論の様子は、議場や委員会室でだれでも見たり聴いたりすることができます。これを「傍聴」といいます。

傍聴の案内



インターネット中継について

本会議や委員会での議論の様子は、インターネットで生中継と録画中継(過去1年分)を見ることができます。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも見ることができます。



インターネットの本会議・委員会中継



市役所の役割などについて学びました

「なごや 子ども市会」では、議会についての話だけではなく、教育委員会の教育長・教育次長さんから市役所の役割や教育委員会の取り組みなどについて説明がありました。

市役所はさまざまな仕事を行っているため、たくさんの部署があり、3万人を超える多くの職員さんが働いています。防災危機管理局や観光文化交流局などの多くの局と、各区に設置されている16区役所と6支所があり、それぞれ担当の仕事を行っています。さらに、仕事の内容によって、「〇〇部」、「〇〇課」などに分かれています。



また、市長から独立した組織である「行政委員会」があります。教育委員会も「行政委員会」の1つであり、議会において決まった条例(市が行う仕事や市民のみなさんに守ってもらうルール)や予算(市のお金の使い方)などに基づいて、新しい学校をつくらしたり、学校で使うタブレットなどの教材を用意したりしています。

執行機関



ポイント 行政委員会は、公正で専門的な判断を行うために、市長から独立して仕事を行っているよ!

教育委員会の仕事

いじめ防止対策 ING	先生への研修 けんしゅう	教材の提供 ていきょう
給食の提供 ていきょう	教育相談	施設管理 しせつ

陸前高田市と名古屋市との交流について学びました

「なごや 子ども市会」では、議長から岩手県陸前高田市と名古屋市との交流について説明がありました。

陸前高田市は、2011年(平成23年)3月11日に発生した巨大な地震(東日本大震災)で大きな被害を受けました。そこで、名古屋市の職員が陸前高田市に行きまちづくりのお手伝いをする事になり、それをきっかけとして、さまざまな分野での交流が行われるようになりました。名古屋市会でも、2018年(平成30年)に陸前高田市議会と「友好交流協定」を結んでいます。

2021年(令和3年)3月23日には、陸前高田市から名古屋市へ、地震の津波で流されずに残った「きせきの一本松」の遺伝子を受けつぐ松の木がおくられ、東山動植物園に植えられました。3月23日は、地震の後に、初めて名古屋市の職員が陸前高田市に行った日でもあることから、この日を「きずなの日」という記念日としています。

東山動植物園に植えられた「きせきの一本松」の遺伝子を受けつぐ松の木▶



子ども議員のみなさんが感想や意見を発表しました

「なごや 子ども市会」の締めくくりとして、議長の進行のもと、子ども市会に参加した感想や意見の発表を行いました。また、アンケートでも「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデアをたくさんいただきましたので、一部を紹介します。



子ども議員の発表と議長のコメント

- 子ども議員** 傍聴席に上がるときの階段や、議場内の段差を、車いすの人でも使いやすいようにするために、スロープをつけたいと思いました。
- 議長** 古い建物で段差が多いです。以前、車いすに乗っていた議員がいましたが、その時は臨時的に演壇にスロープをつけていました。常にフラットでないのは今の時代にはそぐわないかもしれません。貴重なご意見ありがとうございます。
- 子ども議員** 市議会のことはすでに勉強していてなんとなく知っていたけど、こうやって名古屋市会に来て、実際に、ここで話を聞いたりすることや、陸前高田市や姉妹友好都市の話聞くことで、より興味が沸きました。
- 議長** 素晴らしい意見をありがとうございます。

アンケートでいただいた「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデア

- 夏は暑くて体調を崩しやすいので、屋内の観光スポットを増やす。
- 老人ホームに、授業の1つとして小学生・中学生が訪問し、みんなで楽しく遊べるといいと思う。
- 障がい者や子どもなどが気軽にいける屋内型の公園や施設を作る。

議長・副議長から子ども議員へのメッセージ

子ども議員のみなさん、10回目という記念すべきタイミングの子ども市会にご参加いただきありがとうございました。

子ども市会では、名古屋市会の役割、名古屋市が行っている仕事、陸前高田市と名古屋市の交流などを学んでいただきました。子ども議員のみなさんにとって、子ども市会での体験が、自分たちの住むまちの政治や社会

に興味・関心をもってもらうきっかけとなればとてもうれしいです。

そして、子ども議員のみなさんから、「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデア、陸前高田市と名古屋市の交流のアイデア、子ども市会に参加した感想などをたくさんいただきました。子ども議員のみなさんからの真剣な熱い想い、素敵なご意見をしっかり受けとめて、名古屋をもっと素晴らしいまちにしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。